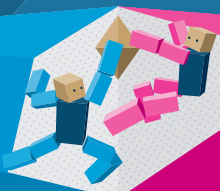




パリ 2024 五輪・銀メダリスト
安楽宙斗 選手

境界を超えて
挑戦する。

IFSC
NATIONS
GRAND FINALE



IFSC
PARA CLIMBING
MASTER

IFSC クライミング グランドファイナルズ福岡2025 2025 10.23-26

福岡県飯塚市・筑豊緑地公園／いづかスポーツ・リゾート ザ・リトリート

当日プログラム 10.23 **DAY1**

スポーツクライミングの未来を切り開く

Photo : © Nakajima Kazushige/IFSC



10月23日、ついに「IFSC クライミンググランドファイナルズ福岡2025」が開幕します。2025シーズンを締めくくるのに相応しい、男女混合のチームフォーマットを導入した国別対抗戦とパラクライミング国際大会を同時開催するこれまでにない試みです。初日は「IFSC NATIONS GRAND FINALE」のリード予選、ボルダー予選が行われます。出場6カ国はどの課題にも2人1組で登り、ボルダーの5課題目とリードの2つのルートは男女ペアで挑みます。チームが一丸となり協力しながら課題を攻略していく、スポーツクライミングの未来を切り開く先駆的な大会をぜひお楽しみください

ルール紹介

ボルダー

用意される課題は、各ラウンドとも男子課題が2つ、女子課題が2つ、男女混合課題が1つの計5つ。各課題には2人が挑み、混合課題は男女1人ずつが登ります。2人が完登すると最高50ポイント×5課題で各国の最大獲得ポイントは250。相談や情報共有が可能な「協力型ルール」で進行する予定です。5課題目の混合課題ではコーチが戦略的に出場選手を選びます。制限時間は各課題5分間で、課題の見極めや順番の駆け引きが勝敗を大きく左右する、新しいボルダーフォーマットです。予選上位2チームとエリミネーションヒート（敗者復活戦）上位2チームの計4チームが決勝を戦います。

基本ルール

- ・高さ4～5mほどの壁を登る。
- ・各課題にはゾーンと呼ばれるホールドが1つあり、ゾーン到達で10ポイントが、最後のトップホールドを両手でコントロールできれば「完登」で25ポイントが与えられる。
- ・各課題の制限時間は5分間。制限時間内であれば何度でもアテンプト（試技）できるが、ポイントを獲得した課題に限り、獲得までに失敗したアテンプト数×0.1ポイントが減点される。

リード

用意される課題は、各ラウンドとも2つ。各国はルートAに2名、ルートBに2名が登ります（必ず男女ペア）。各課題の制限時間は6分。従来のように選手を隔離する形式を見直し、前の選手の登りを参考にしながら攻略できる新ルールを導入予定。また、男女で共通のルートにトライするため、コーチは選手の特徴に適したルートを判断する必要があります。戦略とチームワークが鍵を握る、手に汗握る展開が期待されます。予選を勝ち抜いた上位4チームが決勝に進出します。

基本ルール

- ・高さ12m以上の壁を登る。
- ・ホールドをつかむごとにポイントが加算され、上部に進むにつれてその数は大きくなる。
- ・ポイントの対象となるのはトップホールドから数えて40手分。1～10手目は各1ポイント、11～20手目は各2ポイント、21～30手目は各3ポイント、最後の31～40手目は各4ポイントが与えられる。
- ・最後の支点到ロープをクリップすると「完登」で100ポイントが与えられる。
- ・制限時間は6分間。アテンプトは1回限りで落下すると競技終了となる。
- ・落下時に、身体の重心または臀部が前進し、なおかつ片手あるいは両手を進行方向に沿った次のハンドホールドに向かって動かしたと判断されれば0.5ポイント加算される。

出場国紹介

文 尾川智子



日本

W杯2024国別ランキング ボルダー1位／リード1位

ボルダー、リード、パラクライミングのすべてで世界トップレベルを誇ります。日本人選手は W 杯や世界選手権での優勝経験があり、五輪では男女とも銀メダル（最高成績）を獲得。繊細でテクニカル、戦略的思考を駆使した解像度の高いクライミングを得意とし、技術と頭脳を融合させたスタイルが特徴です。



アメリカ

W杯2024国別ランキング ボルダー3位／リード8位

アメリカも五輪では男女とも最高成績で銀メダルを獲得しています。男子は筋肉質で豪快なパワー系が多く、リードよりボルダーでの強さが目立ちます。女子は細身でテクニカルな選手が多く、ボルダーとリードの双方で活躍します。



韓国

W杯2024国別ランキング ボルダー6位／リード5位

日本と同様、繊細でテクニカルかつ戦略的なクライミングを得意とします。握力や保持力に優れ、男子はボルダーとリード、女子はリードでW杯優勝者を輩出しています。9 月にはソウルで世界選手権が開かれ、男女でメダリストが誕生しました。日本にとって今大会最大のライバル国と言えるでしょう。



オーストラリア

W杯2024国別ランキング ボルダー9位／リード15位

オーストラリアは力強くダイナミックなクライミングが特徴で、リーチを活かした登りを得意とします。女子選手の活躍が目立ち、ボルダーで世界トップレベルの成績を収め、五輪でも上位進出を果たしています。



イスラエル

W杯2024国別ランキング ボルダー12位／リード18位

社会情勢の影響で大会に出場できない時期もありましたが、近年では女子選手が世界選手権の決勝に進出するなど、特にボルダーで活躍しています。パワーとダイナミックな動きが特徴ですが、その中に巧みでクレバーなムーブも取り入れてきます。



カナダ

W杯2024国別ランキング ボルダー11位／リード20位

カナダはパワー系選手が多く、ボルダーでの活躍が目立ちます。数年前までは男女とも W 杯決勝や五輪で活躍するトップ選手がいましたが、世代交代してから決勝進出者は現れていません。しかしユース世代で活躍を見せており、次世代の飛躍が楽しみな国です。

出場選手リスト

	ボルダー／BOULDER		リード／LEAD	
	男子／Men	女子／Women	男子／Men	女子／Women
日本 JPN	安楽 宙斗 Sorato Anraku 天笠 颯太 Sohta Amagasa	野中 生萌 Miho Nonaka 中村 真緒 Mao Nakamura	安楽 宙斗 Sorato Anraku 吉田 智音 Satone Yoshida	野中 生萌 Miho Nonaka 谷井 葉月 Natsuki Tani
アメリカ USA	ヴェイル・エベレット Vail Everett デクラン・オズグッド Declan Osgood	ゾーイ・イー Zoe Yi パロマ・スロウィック Paloma Slowik	ヴェイル・エベレット Vail Everett デクラン・オズグッド Declan Osgood	ゾーイ・イー Zoe Yi パロマ・スロウィック Paloma Slowik
韓国 KOR	イ・ドヒョン Dohyun Lee チョン・イェジュン Yejun Chon	オ・ガヨン Gayeong Oh ユン・イェジン Yejin Jung	イ・ドヒョン Dohyun Lee ノ・ヒョンスン Hyunseung Noh	ソ・チェヒョン Chaehyun Seo キム・チェヨン Chaeyeong Kim
オーストラリア AUS	ディラン・パークス Dylan Parks マキシム・パレ Maxim Pare	ロキシー・ペリー Roxy Perry ジュディス・キャロル Judith Carrol	ディラン・パークス Dylan Parks マキシム・パレ Maxim Pare	ロキシー・ペリー Roxy Perry ジュディス・キャロル Judith Carrol
カナダ CAN	ユーゴ・ドルバル Hugo Dorval マシュー・ロドリゲス Matthew Rodriguez	バベット・ロワ Babette Roy ライリー・ドハティ Riley Doherty	ユーゴ・ドルバル Hugo Dorval マシュー・ロドリゲス Matthew Rodriguez	バベット・ロワ Babette Roy ライリー・ドハティ Riley Doherty
イスラエル ISR	オレン・プリヘド Oren Prihed アディ・バーク Adi Bark	アルマ・サピール・ハレビ Alma Sapir Halevi マヤ・ドリーマー Maya Dreamer	トマー・ヤコボヴィッチ Tomer Yakobovitch カルメル・ラズ・ロメオ Carmel Raz Romeo	アルマ・サピール・ハレビ Alma Sapir Halevi マヤ・ドリーマー Maya Dreamer

会場マップ

